

] 10 5r •

KAWASAKI STEEL GIHO

Vol.15 (1983) No.3

ã' ö#. æ X b _ ° _ | •!•) 5" 2A D š •/j b ¥ V

Quality Control of Sinter Wi

渡辺 実^{*2} 老山 大輔^{*3} 竹原 亜生^{*4} 篠崎 佳二^{*5} 国分 春生^{*6} 佐々木 晃^{*7}

Quality Control of Sinter with New Operational Indexes

Minoru Watanabe, Daisuke Oiyama, Tsuguo Takehara, Keiji Shinozaki, Haruo Kokubu, Akira Sasaki

要旨

銑鉄コストの低減策の一つとして、焼結鉱の低SiO₂、低FeO化が行われている。一方、この対策は、最近の減産とともに、焼結鉱品質特に還元活性性の悪化を招いており、ア

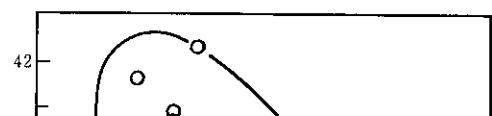
Synopsis:

SiO₂ and FeO contents in sinter have been decreased to lower the production cost of pig iron. However, a low production rate of sinter results in deteriorating Reduction Degradation Index (RDI) of sinter. In con-

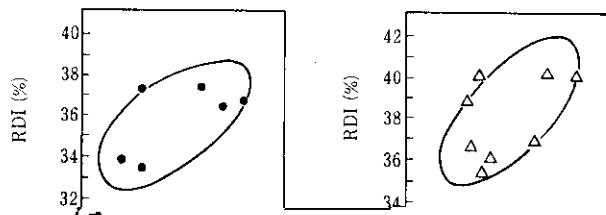
ノコトニロセアミDDTは重複繰り返しモードであるコレ

く、いまだ鉱石鉻柄などの原料特性の影響を統一的に把握できるまでに至っていない。

そこで著者らは、代表的な焼結原料鉱石37種について粒度別







析結果を待って RDI 制御を行っていたため、対策の遅れを招くことが多かったが、現在では、Fig. 17 の事例に示したように、迅速かつ適切な処置をとれるようになっている。

以上のように、FFS/Q は焼成条件の RDI に対する影響を説明できるだけでなく、RDI 制御の迅速化にも役立つ。特に、最

9.0 9.5×10^{-4} 9 10 11 12 13×10^{-4} FFS/Q (-)

(a) When the amount of fuel added to the furnace is constant.

ポン源が多様化しており、結果的にコークスの量や粒径などの変動を引き起こしている。こうした状況下において、両者の効